

松井先生と劔舞

学 長 長 戸 路 政 行

平成10年3月をもって、深い学殖とともに極めて豊かな個性を兼備されていたわれらが松井喜代司先生も、終に敬愛大学を定年退職されました。本大学創設以来の松井先生の多大な御功績に対し心から感謝申し上げる次第でございます。

先生は元明治大学総長であられた鶴沢聡明先生の門下として古代中国の政治思想や哲学を専攻され、明治大学の助手も務められていたと承っております。しかし、先生はその成果を実践に活かすべく一時、政治家としての体験も積まれました。そればかりかその間に先生は日本古来の文化である詩吟と劔舞の修得に生涯をかけての情熱を注がれたのです。しかもそれは松井先生の唯御一人のことではなく先生の奥様や御嬢様の御一家挙げての事業となり、松井流派の門弟や関係者は日本全国に多数が活躍している御様子です。

実は松井先生は以前、千葉敬愛短期大学初等教育科でも教鞭をとられたことがあり、そこで松井先生からこれらの日本古来の文化を習った学生がその後、小学校教員となってこれらの技が大変な好評を博したそうです。

松井先生のような骨太の教授はこれからはもうお目にかかれなくなるかもしれません。政治学の授業においても各種クラブ活動や学生の生活指導においても、松井先生の如き強固なバックボー

ンを持った指導者はもはや望み得ないのでしょうか。残念なことです。

松井先生、生涯を敬愛大学のみならず敬愛学園全体に捧げて下さった松井先生、長い間、本当に御苦勞様でした。ありがとうございました。まだ、これからもしばらくは本大学にお出下さることになっています。どうか、あらためて本大学を再検討下さって、どこをどう改善すべきか御指導下さらんことを切望しております。少子化による学生激減期を迎え、松井先生とお別れすることは大きな痛手と存じますが、それを乗り越えて前進することが残された私どもの先生に対する責務と考えております。

松井先生のこれからの御多幸を心から祈念しております。